

地域住民が主体となったバス運行

自治体情報

人口 43,756 人

標準財政規模 14,075,933 千円

担当課 兵庫県 宍粟市 企画部まちづくり振興課

電話番号 0790-63-3127

ホームページ <http://www.city.shiso.lg.jp/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策 兵庫県淡路市長沢地区、兵庫県丹波市鴨ノ庄地区など

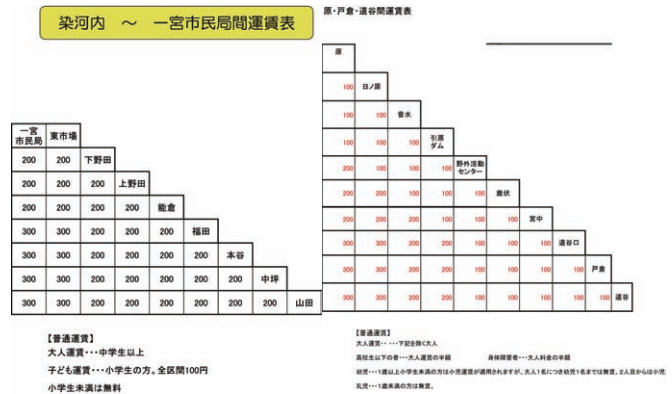
関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

平成 18 年 11 月、民間バス事業者から路線バス休止の申し出があったことにより、市と地域代表者によって、自治会毎に状況説明会を開催するとともに、地域住民の意見集約を行った。

この結果、現在の利用者数は少数であるため、路線バスの休止もやむを得ないが交通手段を持たない人の存在、現在は運転されている高齢者もいつまでも運転できるかどうかなど将来の地域の状況なども考えると交通手段の確保が求められた。



2 事業内容 (目的・目標・方策)

路線バス休止後の交通手段確保を目的として、代替案を講じることとした。

地域の話し合いの結果を受け、市として、様々な交通確保手段を提案する中で、地域の核となる団体、利用される団体の代表者による運営委員会が独自に設置され、路線バスに替わる地域住民による運行バス「思いやり号」の運行が平成 20 年 4 月 1 日から開始された。

少子高齢化社会のなか、染河内地区の住民がお互いに思いやりを持って日常生活や社会生活を助け合うひとつとして、移動の交通移動手段を確保のため市公用車の 10 人乗りワゴン車を活用し、「思いやり号」とネーミングして次のとおり運行を開始した。

- ① 運営母体：染河内地区「思いやり号」運営委員会（染河内地区の住民が組織して運営。自治会・老人クラブ・婦人会・高校 PTA の役員で構成される）
- ② 運行内容：原則として一日 3 往復、毎日運行。運行時間については、路線バスと乗り継ぎしやすい時間設定とした。
- ③ 乗務員：地元で募った有償ボランティアの方が交替で運転を行う。
- ④ 運賃：休止された路線バス運賃を基本に設定。支払い方法は、乗務員の負担を軽減するため、地区各自治会、又は市役所にて販売している乗車券をあらかじめ購入いただき、降車時に料金箱に入れる。
- ⑤ 市支援：助言等を行うとともに運営に要する経費助成及び車両維持費用の負担。

一宮染河内地区対象 平成 20 年 4 月 1 日から運行開始
地域住民による染河内「思いやり号」運行中!
 染河内～一宮市民局間 毎週土日の運行

運賃は、路線バスと同額 100 円。乗車券を事前に購入し、降車時に料金箱に入れてください。乗車券は 100 円 10 枚綴りを 1 冊 1,000 円にて販売しています。(区内所 染河内地区長官自治会、または一宮市民局まちづくり振興課)

お問い合わせ先：一宮市民局まちづくり振興課 電話 0790-72-1000

3 施策の開始前に想定した事業効果

- ①路線バスの休止による交通空白地の解消（地域住民による交通移動手段確保）
- ②地域一体となった地域づくり・まちづくり活動の気運の盛り上がりと活性化

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

民間バス事業者から路線バス休止が伝えられた当初は、市によって代替バスを運行して欲しいなどの意見があったが、地域住民自らが、バスの運行計画を検討し始めてからは、これまで運行されていなかったエリアにも「思いやり号」の運行を計画するなど、地域が一体となった計画が進められ、路線バスの経路になっていなかった地区内自治会も新たにルートに加え運行されている。

また、運行計画の早期段階で、バスの名前を「思いやり号」とネーミングしたことにより、「それぞれの地域が助け合い運行していく」という運行計画の理念が明確になり、運行計画を策定する上で、大きな役割を果たしたと考える。

運行計画時からの課題でもあるが、地区外の一部の区間で路線バスと路線が重複している区間があるため、思いやり号の停留所を全て希望どおり設置することができていない。このため、重複路線区間における「思いやり号停留所」を望む声が引き続き寄せられている。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

一年間の事業を終え、利用収入が燃料代相当分の収入程度であったことやボランティア乗務員の確保など新たな課題がでてきている。

「思いやり号」の名前のごとく走行しているのを見てほのぼのとした気持ちになる」といった意見や「路線バスとの重複区間に停留所を設置してもらいたい」「高齢になったとき利用するので、それまで存続して欲しい」など、地域住民は「思いやり号」の必要性を強く感じている。

また、運転手の中には地区内のパトロール、乗客住民との会話など意義の大きさを語られている。

今後、住民ニーズを反映しつつ、利用者の増加を図り、効率的で継続した運行を行っていく必要がある。

予算関連データ 宍粟市

平成 20 年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,797 千円		0 千円	120 千円	0 千円	403 千円	1,274 千円
①～④の名称・所管等	名称		コミュニティバス運行総合支援事業費補助事業①(運営費補助)②(NPO等運行支援)		運行収入	
	所管		①②兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課			
	金額		① 61 千円 ② 59 千円		403 千円	
	補助率		①② 1/2 以内			